

5月20日 4年生 清掃センターの見学

雨上がりのさわやかな天候の中、中巨摩地区広域事務組合清掃センターで、ゴミの処理について学んできました。不燃ゴミを分別する様子やごみを砕いてさらに細かく分ける様子を見せてもらいました。



施設内では、可燃ゴミがゴミピットにためられ、上から大きなクレーンで持ち上げて投入する様子を見ました。ここで、投入する前に袋に入っているゴミを持ち上げては落とすことを繰り返してゴミをばらして、燃えやすくするそうです。子どもたちはその迫力に驚いていました。





この施設には、管制室があり、電子パネルでゴミの量や燃焼室の温度、集塵機の稼働の様子などを一括管理しているそうです。事故が起きないように、周りの住人に迷惑をかけないように、くふうしていることがわかりました。

施設の外側には、乾電池、ビン（色ごと）金属などに分けて保管されていました。仕分けしてからすぐに処分されるわけではないこともわかりました。



子どもたちは、ゴミ処理の様子を実際に見て、リサイクルが必要・大切であること、きちんと処理しないと環境問題につながることを、ゴミを減らすために無駄なものは購入しないなどの視点で考えることができたようです。